

鹿南タイムズ

発行所
鹿児島県立鹿児島南高等学校
新聞部
鹿児島市谷山中央8丁目4番1号

第20号あたたかい冬特集号

1面…自然災害本校生意識調査
2面…「本校は巨大軍需工場跡」
36時間勤務の実態(上)
修学旅行で見た被災地
3面…県新人・国体入賞ラッシュ
4面…青春宅配便
・放課後散歩みち他

災害への関心高い本校生

自然災害アンケート 地震・台風に関心が高い

今年の大きなニュースは、平成から令和への改号とともに、最高気温が40度を超えた夏の猛暑に続いて、夏の終わりから秋にかけて起きた、台風や洪水などの大規模な自然災害があげられるだろう。そこで新聞部では、12月2日～5日に1年生を中心

グレタさんの演説 知らない者が多数

鹿南タイムズでは、12月に本校1年生(在籍320人)に対して「自然災害・火山に関する意識調査」を実施し、288人から回答を得た。質問と回答並びに分析は、以下の通りである。

問1 9月に国連で高グレタさんの演説を知っていますか？
知っている(15%)
知らない(85%)
この回答から、約7人中6人の本校生は、国連で地球温暖化防止について演説した高校生の存在を知らないことが分かった。また、演説した高校生の氏名について尋ねると、以下の結果だった。

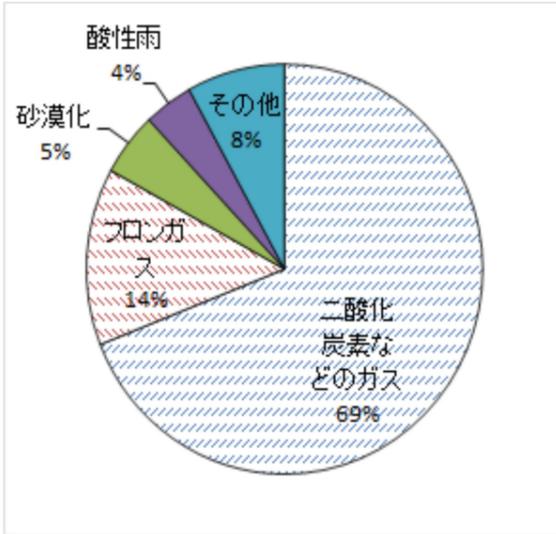
問2 地球温暖化の理由は何でしょうか？
知っている(10%)
知らない(90%)
前の質問と同様、演説をしたスウェーデンの高校生・グレタ・トゥンベリさんについて、知っている1年生は1割だった。知っている人が少ない理由として、演説があった時期からアンケート実施時期まで約2か月経過していたため、忘れた人

問3 自然災害と聞いて不安に思うものは何ですか？
結果は円グラフ問3に示している。最も多かったのは地震で、約3分の1を占めている。その一方で、暴風・豪雨・洪水・高潮は台風とも関連がある災害で、合計すると約

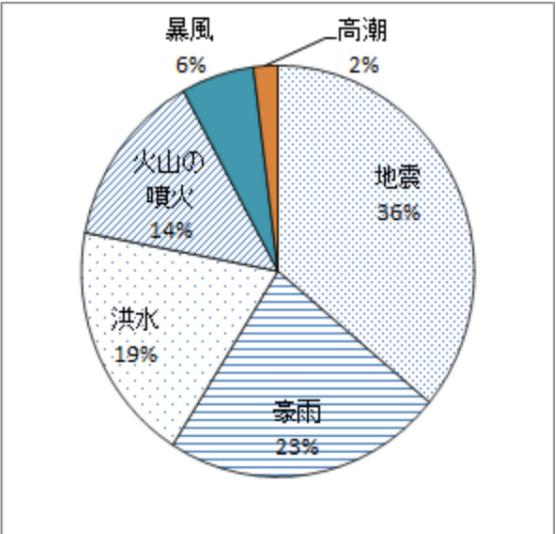
問4 火山が引き起こす災害で、あなたが連想するものは何ですか？
結果は円グラフ問4に示すように、地震と火山灰の2つで6割以上を占めている。

問5 地震と風水害への関心が高い傾向
玉里島津家の日誌(黎明館所蔵)では、大正3年の桜島の噴火後、谷山にあった別邸の庭で水や砂が吹き出した跡が見つかったことが記録されている。これはいわゆる「液状化現象」と考えられ、大規模な火山の噴火は、地震を伴うことが分かる。

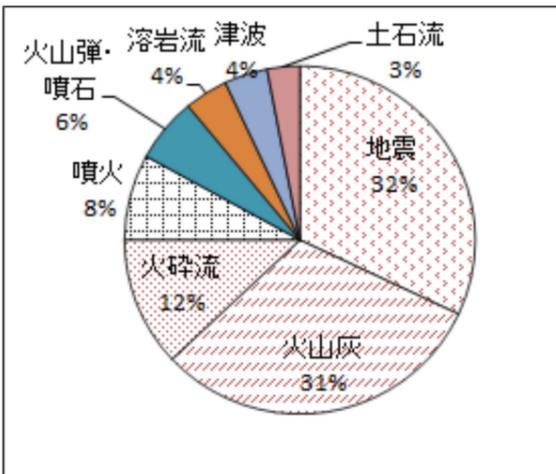
問6 火山が多い本県にも必要な専門職員
日本は世界有数の火山国であり、これまでに多くの火山が噴火し、多くの人々の命が失われてきた。そうした中、我が国では様々な対策が行われている。その例として、火山専門の職員を自治体に配置しようとする、全国初の取り組みがある。富士山の噴火に備えて、山梨県では火山の専門知識を持った「火山防災種」という職種の行政職員を1人採用することになった。採用された職員は、防災局の本庁、県民生活部富士山科学研究所、防災訓練、防災研修等の業務を行う。このような火山防災に対する取り組みは、桜島のある鹿児島県でも実施が望まれる。気象台に火山班はあるものの、具体的な防災対策を示したり、噴火警戒レベルを発表したりするのは自治体であり、専門的な知識を持つ職員が配置されることで、県民にとってこれまで以上に対処しやすい状況を作ることができるのではないだろうか。



問2 地球温暖化の理由は何でしょうか？



問3 自然災害と聞いて不安に思うものは？



問4 火山が引き起こす災害で、あなたが連想するものは何ですか？

今日(12月27日)は1985年(昭和60年)12月27日
祝日法が改正
祝日に挟まれた平日は「国民の休日」として休みにすることが国会で可決・成立した。5月3日の憲法記念日と、5日のこどもの日に挟まれた4日は、平日の場合は休日になった。

今年の夏から秋にかけて、台風や大雨に伴う「特別警報」が発令される可能性がある。過去50年に経験したことがない大雨」という特別の警報のはずだが、頻発された。この状況から考えると、確かに地球はこれまでとは違う状態になっているのかもしれない。▼静岡岡部浜松市では、浜松開誠館中学・高校の生徒約400人が、今年の9月と12月に、気候変動への対策を求める行進を行った。彼らの手には「地球を守れ」「未来を守れ」とのプラカードが掲げられていた。▼最近、夏の猛暑のため、屋外での部活動は練習時間や時間帯が、制限されるようになってきた。温暖化の影響は、私たちの学校生活にも影響を与えていると言えよう。▼今号で掲載したように、地球温暖化に関する国連の会議が開かれた。スウェーデンの高校生が激しい内容のスピーチをして、注目を集めた。その表現には賛否があるが、地球環境を護るべきとの思いは、あらゆる人に共通するのではないだろうか。▼来たる令和2年が、私たちの生活にとって、そして地球にとって、よりよい1年なることを願いたい。

海岸線

今年の夏から秋にかけて、台風や大雨に伴う「特別警報」が発令される可能性がある。過去50年に経験したことがない大雨」という特別の警報のはずだが、頻発された。この状況から考えると、確かに地球はこれまでとは違う状態になっているのかもしれない。▼静岡岡部浜松市では、浜松開誠館中学・高校の生徒約400人が、今年の9月と12月に、気候変動への対策を求める行進を行った。彼らの手には「地球を守れ」「未来を守れ」とのプラカードが掲げられていた。▼最近、夏の猛暑のため、屋外での部活動は練習時間や時間帯が、制限されるようになってきた。温暖化の影響は、私たちの学校生活にも影響を与えていると言えよう。▼今号で掲載したように、地球温暖化に関する国連の会議が開かれた。スウェーデンの高校生が激しい内容のスピーチをして、注目を集めた。その表現には賛否があるが、地球環境を護るべきとの思いは、あらゆる人に共通するのではないだろうか。▼来たる令和2年が、私たちの生活にとって、そして地球にとって、よりよい1年なることを願いたい。

「本校は巨大軍需工場跡」続報

36時間労働の勤務
～元動員学徒の新たな証言～(前編)



岩下功さん (89)

鹿児島商業学校(現在の鹿児島市立鹿児島商業高等学校)に入学した。昭和19年(1944年)5月20日頃から鹿屋海軍基地で双発爆撃機用の掩体壕(えんたいごう)飛行機を爆風から守る、ドーム型の施設)の建設に8月中旬まで動員され、次いで鹿児島海軍基地の飛行場建設に従事したという。以下、岩下さんの証言をまとめた。

これまで本紙は、かつて本校の場所にあった田辺航空工業について、証言や資料を掘り起こしてきた。今回改めて田辺航空工業で働いていた方から、また新しい証言を得た。その貴重な証言内容を紹介したい。

当時の工場の様子について証言したのは、岩下功(いわした いさお)さん(89)。現在、東京都に住しておられるが、かつて自分が働いた工場の跡地を確認に来て、貴重な証言をしてくださった。

岩下さんは鹿屋で生まれ、幼少期は下荒田で育った。八幡国民学校(現在の鹿児島市立八幡小学校)卒業後、

鹿児島商業学校(現在の鹿児島市立鹿児島商業高等学校)に入学した。昭和19年(1944年)5月20日頃から鹿屋海軍基地で双発爆撃機用の掩体壕(えんたいごう)飛行機を爆風から守る、ドーム型の施設)の建設に8月中旬まで動員され、次いで鹿児島海軍基地の飛行場建設に従事したという。

以下、岩下さんの証言をまとめた。

工場での勤務
岩下さんが、田辺航空工業の工場に働き始めたのは、昭和19年10月。岩下さんは、騎射場の電停から市電で30分かけて通っていた。田辺航空の工場には、同じように動員されていた学生が多く、工員寮に入っていた者もいた。

田辺航空の工場では主に水上偵察機の前方胴体やその部品をつくらせており、建物はいくつかに分かれていた。第一工場では、エンジンやプロペラなどの部品をつくらせており、他に溶接工場もあった。第二工場は、特に重要な機体製造所で、水上偵察機は機体の前方部分、対潜哨戒機は後方部分を組み立てていた。前方の胴体には操縦席があり、また下方には爆弾投下の重要な仕組みもあり、相当の熟練工でない限り、完成できないものであった。少し離れたところに第三工場があり、主

機が足りず、戦地から飛行機を送ると矢のような催促が来たため、昼夜2交代の労働だった。休みは、2週間に1回しかなかった。正月も元日だけ休みで、2日から働いた。ただし学徒は、元日は学校で教育勸語を聞くことになっていた。

働くことばかりで余裕がなく、本も読めないことを読書家だった岩下さんは残念に思っていた。

36時間勤務が、1週間だけあったことを覚えている。通常通り7時前に工場に着き、朝礼後は翌日の夕方7時まで連続勤務だった。10時と15時に各10分間の休憩があり、夜中にも1時間休憩があった。しかし寒い時期だったのでとて眠れる状況ではなく、石炭を入れて燃やしているドラム缶に集まり、暖を取った。36時間勤務の時は、食事は工場の食堂で食べることができた。しかし工場の食堂の食器は石炭から作るベークライトで石炭のおいが強く、食べていても美味しくないと思うことはなかった。

工場内には学徒専用の部屋があり、ここにはやむなく外地に出征した恩師からの懐かしい便りが展覧された。学生たちはむさぼるように読んでいた。これは工場勤務の数少ない楽しみだった。軍需工場のため、魚や野菜、菓子類、そして米が優先的に配給されていたようだった。そのため空腹になることはなく、買い出しに行くこともなかった。

通常の勤務は、12時間だった。朝6時頃に家を出て、工場に7時前に着く。7時から朝礼が始まり、社長の田辺健吉さんの話があり、元教師だった方が戦意昂揚の和歌を紹介したりするなど30分程度続いた。朝礼後、仕事が始まり、昼は持って行った弁当を食べた。夕方7時までの勤務だった。

朝からの勤務だけではなく、夕方からの勤務は昼夜逆転の生活になるため、身体の負担が大きくなるかきつかった。当時南方では飛行

機が足りず、戦地から飛行機を送ると矢のような催促が来たため、昼夜2交代の労働だった。休みは、2週間に1回しかなかった。正月も元日だけ休みで、2日から働いた。ただし学徒は、元日は学校で教育勸語を聞くことになっていた。

働くことばかりで余裕がなく、本も読めないことを読書家だった岩下さんは残念に思っていた。

36時間勤務の実態
通常の勤務は、12時間だった。朝6時頃に家を出て、工場に7時前に着く。7時から朝礼が始まり、社長の田辺健吉さんの話があり、元教師だった方が戦意昂揚の和歌を紹介したりするなど30分程度続いた。朝礼後、仕事が始まり、昼は持って行った弁当を食べた。夕方7時までの勤務だった。

朝からの勤務だけではなく、夕方からの勤務は昼夜逆転の生活になるため、身体の負担が大きくなるかきつかった。当時南方では飛行

機が足りず、戦地から飛行機を送ると矢のような催促が来たため、昼夜2交代の労働だった。休みは、2週間に1回しかなかった。正月も元日だけ休みで、2日から働いた。ただし学徒は、元日は学校で教育勸語を聞くことになっていた。

働くことばかりで余裕がなく、本も読めないことを読書家だった岩下さんは残念に思っていた。

36時間勤務が、1週間だけあったことを覚えている。通常通り7時前に工場に着き、朝礼後は翌日の夕方7時まで連続勤務だった。10時と15時に各10分間の休憩があり、夜中にも1時間休憩があった。しかし寒い時期だったのでとて眠れる状況ではなく、石炭を入れて燃やしているドラム缶に集まり、暖を取った。36時間勤務の時は、食事は工場の食堂で食べることができた。しかし工場の食堂の食器は石炭から作るベークライトで石炭のおいが強く、食べていても美味しくないと思うことはなかった。

工場内には学徒専用の部屋があり、ここにはやむなく外地に出征した恩師からの懐かしい便りが展覧された。学生たちはむさぼるように読んでいた。これは工場勤務の数少ない楽しみだった。軍需工場のため、魚や野菜、菓子類、そして米が優先的に配給されていたようだった。そのため空腹になることはなく、買い出しに行くこともなかった。

通常の勤務は、12時間だった。朝6時頃に家を出て、工場に7時前に着く。7時から朝礼が始まり、社長の田辺健吉さんの話があり、元教師だった方が戦意昂揚の和歌を紹介したりするなど30分程度続いた。朝礼後、仕事が始まり、昼は持って行った弁当を食べた。夕方7時までの勤務だった。

朝からの勤務だけではなく、夕方からの勤務は昼夜逆転の生活になるため、身体の負担が大きくなるかきつかった。当時南方では飛行

機が足りず、戦地から飛行機を送ると矢のような催促が来たため、昼夜2交代の労働だった。休みは、2週間に1回しかなかった。正月も元日だけ休みで、2日から働いた。ただし学徒は、元日は学校で教育勸語を聞くことになっていた。

働くことばかりで余裕がなく、本も読めないことを読書家だった岩下さんは残念に思っていた。

36時間勤務が、1週間だけあったことを覚えている。通常通り7時前に工場に着き、朝礼後は翌日の夕方7時まで連続勤務だった。10時と15時に各10分間の休憩があり、夜中にも1時間休憩があった。しかし寒い時期だったのでとて眠れる状況ではなく、石炭を入れて燃やしているドラム缶に集まり、暖を取った。36時間勤務の時は、食事は工場の食堂で食べることができた。しかし工場の食堂の食器は石炭から作るベークライトで石炭のおいが強く、食べていても美味しくないと思うことはなかった。

工場内には学徒専用の部屋があり、ここにはやむなく外地に出征した恩師からの懐かしい便りが展覧された。学生たちはむさぼるように読んでいた。これは工場勤務の数少ない楽しみだった。軍需工場のため、魚や野菜、菓子類、そして米が優先的に配給されていたようだった。そのため空腹になることはなく、買い出しに行くこともなかった。

通常の勤務は、12時間だった。朝6時頃に家を出て、工場に7時前に着く。7時から朝礼が始まり、社長の田辺健吉さんの話があり、元教師だった方が戦意昂揚の和歌を紹介したりするなど30分程度続いた。朝礼後、仕事が始まり、昼は持って行った弁当を食べた。夕方7時までの勤務だった。

朝からの勤務だけではなく、夕方からの勤務は昼夜逆転の生活になるため、身体の負担が大きくなるかきつかった。当時南方では飛行

機が足りず、戦地から飛行機を送ると矢のような催促が来たため、昼夜2交代の労働だった。休みは、2週間に1回しかなかった。正月も元日だけ休みで、2日から働いた。ただし学徒は、元日は学校で教育勸語を聞くことになっていた。

働くことばかりで余裕がなく、本も読めないことを読書家だった岩下さんは残念に思っていた。

修学旅行で地震の被災地を訪問

被災地の現状

12月2日(月)5日(木)に2年生の修学旅行が行われた。旅行の3日目に、福島県いわき市を訪れた。

このいわき市は、2011年3月11日に起きた、東日本大震災で大きな被害を受けた場所である。市を襲った津波の高さは、7.5〜8.5mまで達し、建物の2階まで届くほどだったという。元々あった1m程の堤防の高さでは津波を防ぐことができなかったため、現在はその2倍にもなる堤防が設置されている。津波による影響は、他にも数多くあった。

地域を見学するバスの中で津波と、その後の復興の様子をビデオで見た。すさまじい津波の力に恐怖を感じた。訪問した地域の漁港周辺では、約1mの地盤沈下が起こった。そのため少しの波でも水が迫るところもあり、地盤が海側へずれて、多くの家は約80cmも海に引き寄せられ、家にひずみが出てしまったという。そして漁師はまともに漁に出られない状況だったため、約1年間は海の清掃を行ったそう。海には津波で流された家具や家電が数多く沈んでおり、漁業をする際は網が引っかかり障害になる。そこで家具や家電を引き揚げて処分する必要がある。そこで家具や家電に関する資料も見ることもできた。またこの建物の敷地内には、放射能簡易検査所という食べ物放射能を調査する施設があった。いわき市に検査する機械は13台あり、いわき市の産物は無料で検査できるそう。

食品に関する放射能の基準は100ベクレルで、野菜・魚等は大丈夫だが、山菜・きのこ類・猪は現在でも稀に100ベクレルを超えることがあるそう。

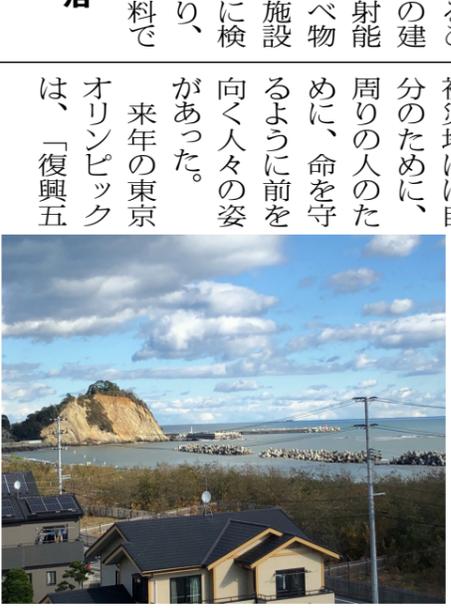
福島県では、50ベクレルを超えると市場には出さず、20ベクレルを超えるという独自の基準を用いている。今回語り部として話してくれた方が、最後に「自分の命は絶つちゃだめ。命は大事にしなさい。」と話してくれた。震災から8年9カ月経った今、被災地には自分のために、周りの人のために、命を守るように前を向く人々の姿があった。

来年の東京オリンピックは、「復興五輪」として被災地でも一部競技が開催される予定である。

私たちは被災地のことを忘れることなく、もし被災地の商品があれば購入するなどして応援していきたいと思う。



慰霊碑がある秋葉神社



海辺のテトラポットと防災緑地



大久ふれあい館には避難施設も

田辺航空工業株式会社
1943(昭和18)年から現在の鹿児島南高校の周辺地である鹿児島市谷山中央8丁目、西谷山1・2丁目にて操業を開始した南九州最大の軍需工場。従業員数5千人超で航空機部品を生産していた。工場では10代の勤労学生、養成工も勤務した。本紙は平成25年度から調査を始め、7年目を迎えた。証言者が少なくなった現在、一人でも多くの方から聞き取りをして、実態を明らかにしたいと考えている。

連載特別企画

青春宅配便

あなたに青春届けます。

Vol. 20

寒い冬に暖まる方法を紹介しましょう!

1 冷え取りマッサージ
手の指の付け根に手を温めるツボがあります。そこを親

本格的に冬になり、体が冷える季節になりました。勉強したくても手が冷えて、思うように動かせられず集中できない!!なんて人もいます。その中で今回の青春宅配便は、簡単に体や手を温められる方法を、4つ紹介します。

指と人差し指を使って、ツボをつまんで挟み込み、少し力を入れて外側に引っ張り指を離してください。これを10回1セットとして、反対の手も同じように繰り返すと、徐々に手が温まり始めます。授業を聞きながらでもできるので、寒くて手が冷かんでいる時には是非試してみてください。

2 暖かいお湯等ツボ
まず、冷えた腰や下腹部などを湯たんぽや蒸しタオルで温める、または少し熱めのお湯で足湯や肘までお湯に浸ける手湯をして、温めます。その上で、腰や下腹部、肩口あたりにあるツボを刺激すると、とても効果的です。また、すぐに体を温めたい時には、足湯がオススメです。湯船や桶などに足首が浸かるくらいのお湯(40度)を張り、10分くらい浸けると体はとても温まり、体のバランスも良

3 アイテムを使って、体を暖める方法
暖めアイテムと言えばカイロですが、貼らないカイロってあまり暖かくない!という声をよく聞きます。そこで、今回は裏技を紹介しましょう。皆さんはよくカイロを振ったり揉んだりして暖めがちですが、それはあまり効果が期待できず、暖まりません。振った勢いでカイロの熱も逃げてしまいます。カイロは振るのではなく「息を吹きかける」ことが重要なポイントです。息に含まれる酸素がカイロの中の鉄に

4 体を温める飲み物
直接届き、それによって多くの酸化反応が起こり、すぐにカイロの温度を上げることができません。また、カイロは直接空気に触れるよりポケットなどに入れてください。よ熱が逃げにくくなり長持ちさせることができます。

皆さんは、頻りに緑茶やコーヒーを飲むのではないのでしょうか。しかし、たどえそれらが温かいものであっても、実は体を冷やしてしまう飲み物なのです。コーヒーは少量なら血行を促進させ体を温めることができますが、過剰に取ってしまうと、カフェインには体を冷やす作用があるので、

尚更身体を冷やす原因になります。そのため、コーヒーを飲む際には、ノンカフェインのコーヒーや玄米コーヒーなどがオススメです。また、ココアやほうじ茶、生姜を使った飲み物を飲むと、血行がよくなり、寒さが解消されるでしょう。

今年は暖冬の長期予報もありますが、寒暖の差が大きくなる傾向があるようです。1、2年生はもちろんです。来月はセンター試験があります。受験する3年生の皆さんは、体調を崩すことがないよう、飲み物や手のツボを押すなどして体温を上げて、免疫力を高めていきましょう。

放課後散歩みち

今回取材したのは、慈眼寺交差点そばの「かんもくれ谷山店」。平成7年から美味しいパンを提供している。スタッフの池田彩夏(あやか)さんに、インタビューをした。

お店を始めたのは、社長ご夫妻が、あるパン屋に勤めていた経験に基づき、「子どもに安全なものを食べさせたい」との思いがあったことだ。「かんもくれ」とは、徳島の言葉で「ようこそ」という意味だそうだ。パンを作るときにこだわりの素材を

と、焼き上がりの見と、焼き上がりはもちろん、大人が感じの味がする。③は中にイチゴクリームが入っているが、しつこくない甘さ。イチゴの香りがとても良い。人気のパン、ベスト3!

看板商品で、製造が追いつかないこともあるそうだ。②は、ほんのりと塩味がして歯応えが良い。③は中にいっぱい詰まっているクリームは店で手作りの美味い焼きたてパンを求めて、あなたも訪ねてみてはいかが?



木を使った温かい雰囲気のお店。入口の窓からは焼きたてパンも見える。

- 池田さんに教えてもらったオススメ
- ① 谷山店限定たご焼きパン (165円)
- ② 大人のコーヒーサンド (160円)
- ③ 季節限定のつぶつぶイチゴメロンパン (160円)



右側から時計回りに塩パン、カレーパン、奥がクリームパン

かんもくれ谷山店
★営業時間 6時半~19時(水休)
鹿児島市谷山中央5-12-23 1階
JR慈眼寺駅から徒歩約10分弱



2年普通科 小瀬由夏さん (2-2)

学校内外の注目人物を紹介する「すっぴんきらりん」は、本校の小瀬由夏さん(2-2)に取材しました。

舞台上歌にダンスに大活躍!

小瀬さんは谷山ひがし子ども劇場に所属しており、11月2日(土)に谷山サザンホールで行われた「Teens Art Festival 2019」に子ども劇場の活動の一環として参加しました。この公演は、2001年から2年に1度、これまで10回にわたって行われており、10代の中高生の子も達、脚本作り・登場人物創造・パフォーマンス・チラシ・チケット・当日資料・会場作りまで、協力し合って作り上げるステーションです。

自分達が様々な偏見を持っていることを知り、劇を見た人にも「固定概念」に気付いてほしいです。

自分達が日頃思っていること、感じていることを、劇を通して伝えることができ、自分を変えたいチャンスが、子ども劇場。今回の公演は2年後になります。自分たちで企画・立案して活動する貴重な機会だと思いました。是非、あなたも参加してみませんか?



プロの演出家である長島宏さんに依頼して行われました。今回は、劇はもちろんだンス・歌・バンド・ディアポロ・ソーラン節の、多彩なパフォーマンスが行われました。

Q 今回の劇で、力を入れたことは?
A 劇のテーマである「固定概念に気づく」をお客さんに伝えることです。

Q なぜテーマが「固定概念に気づく」になったのですか?
A 劇を始めるに当たり、劇のテーマを決めるため、ハンセン病について学べる星塚敬愛園を訪れました。そこで自分達が様々な偏見を持っていることを知り、劇を見た人にも「固定概念」に気付いてほしいです。

Q 大変だったことは?
A 役になりきること、練習と学校の両立、舞台上笑顔でパフォーマンスすることです。

Q 子ども劇場に入って良かったことは何ですか?
A 子ども劇場に入る前は人見知りでしたが、入った後は活動の経験を通して苦手を克服でき、自分を変えられたことです。



ステージで合唱する団員。みんな輝いています。